

平成 31 年 度

予 算 説 明 書

交 通 局

目 次

自動車運送事業会計

1	業務の予定量	1 頁
2	収支の予定額	2 頁
3	事項別説明	5 頁
4	債務負担行為	12 頁
5	企業債	13 頁
6	一時借入金	13 頁
7	職員定員表	14 頁

高速度鉄道事業会計

1	業務の予定量	15 頁
2	収支の予定額	16 頁
3	事項別説明	19 頁
4	債務負担行為	27 頁
5	企業債	28 頁
6	一時借入金	28 頁
7	職員定員表	29 頁

平成 3 1 年度予算の概要

1	重要事項	31 頁
	(1)安全・安心の推進	31 頁
	(2)快適・便利の向上	33 頁
	(3)まちの活性化への貢献	37 頁
	(4)安定した運営基盤の確立	38 頁
2	財政支援	40 頁
3	消費税法及び地方税法の一部改正に伴う料金改定	42 頁

自動車運送事業会計

1 業務の予定量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
最 多 運 転 車 両 数 (両)	1 日 平 均	908	910	△ 2
運 転 キ ロ (k m)	1 日 平 均	99,400	99,400	0
	年 間	36,380,400	36,281,000	99,400
乗 車 人 員 (人)	1 日 平 均	354,600	353,700	900
	年 間	129,783,600	129,100,500	683,100
運 輸 収 益 (千 円)	1 日 平 均	51,440	50,904	536
	年 間	18,827,037	18,579,791	247,246

2 収支の予定額

(収益的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
自動車運送事業収益	27,297,143	26,034,612	1,262,531
営 業 収 益	22,813,439	22,054,150	759,289
うち 運 輸 収 益	18,827,037	18,579,791	247,246
営 業 外 収 益	4,261,866	3,822,003	439,863
うち 一般会計補助金	4,049,319	3,596,397	452,922
長期前受金戻入	42,492	43,986	△ 1,494
特 別 利 益	221,838	158,459	63,379
自動車運送事業費	26,354,544	25,297,167	1,057,377
営 業 費 用	25,969,707	24,758,170	1,211,537
うち 人 件 費	13,247,703	13,129,765	117,938
経 費	11,273,090	10,494,112	778,978
減 価 償 却 費	1,448,914	1,134,293	314,621
営 業 外 費 用	374,837	403,226	△ 28,389
うち 支 払 利 息	16,950	24,525	△ 7,575

予備費	10,000	10,000	0
(特別損失)	—	125,771	△ 125,771
営業損益	△ 3,348,797	△ 2,932,834	△ 415,963
経常損益	555,043	531,390	23,653
特別損益	221,838	32,688	189,150
純損益	776,881	564,078	212,803
累積欠損金(△)	△ 32,683,222	△ 35,880,892	3,197,670

(資本的収支)

項目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増△減 千円
資本的収入	2,248,583	4,056,759	△ 1,808,176
企業債	1,742,000	2,237,000	△ 495,000
出資金	500,000	1,000,000	△ 500,000
その他資本収入	6,583	819,759	△ 813,176
資本的支出	4,801,518	5,252,917	△ 451,399
建設改良費	1,852,312	2,556,290	△ 703,978
企業債償還金	939,206	686,627	252,579

項 目	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
借 入 金 返 還 金	2,000,000	2,000,000	0
予 備 費	10,000	10,000	0
収 支 差 引	△ 2,552,935	△ 1,196,158	△ 1,356,777

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2,552,935千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で措置するものとする。

3 事項別説明

(収益的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
自動車運送事業収益	27,297,143	26,034,612	1,262,531	
1 営業収益	22,813,439	22,054,150	759,289	
1 運輸収益	18,827,037	18,579,791	247,246	乗車料金 12,137,943 敬老パス等負担金 6,689,094
2 運輸雑収	3,986,402	3,474,359	512,043	バス事業運営費負担金等
2 営業外収益	4,261,866	3,822,003	439,863	
1 受取利息及び配当金	100	100	0	預金利子等
2 一般会計負担金	123,625	127,767	△ 4,142	児童手当負担金
3 一般会計補助金	4,049,319	3,596,397	452,922	資本費補助金 1,234,418 地域巡回路線等維持補助金 2,281,000 基礎年金拠出金公的負担経費補助金 386,084 共済追加費用補助金 147,817
4 県補助金	20,000	20,000	0	運輸事業振興補助金
5 長期前受金戻入	42,492	43,986	△ 1,494	減価償却等に伴う長期前受金の戻入
6 雑収益	26,330	33,753	△ 7,423	不用品売却代等
3 特別利益	221,838	158,459	63,379	
1 その他特別利益	221,838	158,459	63,379	敬老パス等負担金過年度精算金

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
自動車運送事業費	26,354,544	25,297,167	1,057,377	
1 営業費用	25,969,707	24,758,170	1,211,537	
1 車両保存費	2,122,474	2,098,120	24,354	自動車車両の維持補修費 (人件費) 805,360 技術職員 75人 計 75人 (経 費) 1,317,114
2 諸構築物保存費	248,124	217,732	30,392	建物等の維持補修費 (人件費) 59,275 技術職員 6人 計 6人 (経 費) 188,849
3 運 転 費	20,355,404	19,591,664	763,740	自動車運転費 (人件費) 11,371,730 事務職員 21人 技術職員 1,213人 計 1,234人 (経 費) 8,983,674

4 運輸管理費	1,088,787	1,013,329	75,458	自動車運転の管理費 (人件費) 611,172 事務職員 23人 技術職員 36人 計 59人 (経費) 477,615
5 研修所費	55,409	52,737	2,672	研修所の運営費 自動車運送事業分担率 20% (人件費) 49,458 (経費) 5,951
6 一般管理費	650,595	650,295	300	自動車運送事業分担率 20% (人件費) 350,708 (経費) 299,887
7 減価償却費	1,448,914	1,134,293	314,621	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
2 営 業 外 費 用	374,837	403,226	△ 28,389	
1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	22,589	31,614	△ 9,025	利子及び手数料
2 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	348,228	368,606	△ 20,378	
3 雑 支 出	4,020	3,006	1,014	
3 予 備 費	10,000	10,000	0	
1 予 備 費	10,000	10,000	0	
(特 別 損 失)	—	125,771	△ 125,771	
(その他特別損失)	—	125,771	△ 125,771	

(資本的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
資 本 的 収 入	2,248,583	4,056,759	△ 1,808,176	
1 企 業 債	1,742,000	2,237,000	△ 495,000	
1 自動車運送事業 公 債	1,742,000	2,237,000	△ 495,000	乗合自動車の購入費等にあてる起債
2 出 資 金	500,000	1,000,000	△ 500,000	
1 高速度鉄道事業 会 計 出 資 金	500,000	500,000	0	経営基盤強化出資金
(一般会計出資金)	—	500,000	△ 500,000	
3 その他資本収入	6,583	819,759	△ 813,176	
1 その他資本収入	6,583	819,759	△ 813,176	受託工事収入等
資 本 的 支 出	4,801,518	5,252,917	△ 451,399	
1 建 設 改 良 費	1,852,312	2,556,290	△ 703,978	
1 建 物 費	610,058	807,724	△ 197,666	停留所施設の整備費等
2 電 線 路 費	56,858	16,484	40,374	電気設備工事費
3 車 両 費	1,054,199	1,345,827	△ 291,628	乗合自動車の購入費等

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
4 機 械 器 具 費	109,305	142,530	△ 33,225	事業用機械器具の購入費
5 リース資産 購入費	15,809	11,819	3,990	情報システム機器のリース料
6 受託工事費	6,083	231,906	△ 225,823	
2 企業債償還金	939,206	686,627	252,579	
1 企業債償還金	939,206	686,627	252,579	
3 借入金返還金	2,000,000	2,000,000	0	
1 借入金返還金	2,000,000	2,000,000	0	一般会計借入金の返還金 1,000,000 高速度鉄道事業会計借入金の返還金1,000,000
4 予 備 費	10,000	10,000	0	
1 予 備 費	10,000	10,000	0	

(建設改良事業の主な内容)

区 分	金 額 千円
バス車両の更新 45 両	931,552
停留所施設の整備・改修	170,199
ドライブレコーダーの機能強化	98,038
バスターミナルの環境改善	63,604
バス車内への液晶式停留所名表示器の設置	12,707
給油量管理システムの導入	15,400
施設の整備	560,812
計	1,852,312

4 債務負担行為

○ 債務負担行為に関する調書

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	平成30年度末までの 支払義務発生・見込額		平成31年度以降の 支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳	
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	企 業 債 千円	消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 等 千円
本郷バスターミナル改修 の設計	10,000		—	32	10,000	10,000	—
庶務事務システムの改修	35,000		—	32～33	35,000	—	35,000

5 企業債

起債の目的	自動車運送事業整備費にあてるため
限度額	1,742,000千円
起債の方法	普通貸借又は証券発行
利率	年 5.0%以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）
償還の方法	起債年度より据置期間をふくめ、40年度間以内に毎年元利もしくは元金均等の方法により、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は借換えすることができる。政府資金を借り入れる場合は、その融資条件による。

6 一時借入金

限度額	5,000,000千円
-----	-------------

7 職員定員表

科 目 \ 職 名	事 務 職 員 人	技 術 職 員 人	計 人
自 動 車 運 送 事 業 費	44	1,330	1,374
車 両 保 存 費	—	75	75
諸 構 築 物 保 存 費	—	6	6
運 転 費	21	1,213	1,234
運 輸 管 理 費	23	36	59
関 連 費	28	11	39
研 修 所 費	—	5	5
一 般 管 理 費	28	6	34
合 計	72	1,341	1,413

高 速 度 鉄 道 事 業 会 計

1 業 務 の 予 定 量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
最 多 運 転 車 両 数 (両)	1 日 平 均	674 (116編成)	674 (116編成)	0
運 転 キ ロ (k m)	1 日 平 均	189,700	189,700	0
	年 間	69,430,200	69,240,500	189,700
乗 車 人 員 (人)	1 日 平 均	1,335,200	1,329,900	5,300
	年 間	488,683,200	485,413,500	3,269,700
運 輸 収 益 (千 円)	1 日 平 均	227,574	224,681	2,893
	年 間	83,292,024	82,008,545	1,283,479

2 収支の予定額

(収益的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
高速度鉄道事業収益	100,312,742	100,389,892	△ 77,150
営 業 収 益	90,852,077	89,494,883	1,357,194
うち 運 輸 収 益	83,292,024	82,008,545	1,283,479
営 業 外 収 益	9,460,665	10,684,009	△ 1,223,344
うち 一般会計補助金	5,476,907	6,755,814	△ 1,278,907
長期前受金戻入	3,605,182	3,653,296	△ 48,114
(特 別 利 益)	—	211,000	△ 211,000
高速度鉄道事業費	86,619,996	85,176,136	1,443,860
営 業 費 用	75,940,108	73,810,614	2,129,494
うち 人 件 費	26,812,659	26,424,615	388,044
経 費	24,689,106	22,853,151	1,835,955
減 価 償 却 費	24,438,343	24,532,848	△ 94,505
営 業 外 費 用	10,669,888	11,355,522	△ 685,634
うち 支 払 利 息	6,530,598	7,422,123	△ 891,525

予 備 費	10,000	10,000	0
経 常 損 益	12,683,142	14,175,816	△ 1,492,674
特例債元金償還補助金 (一般会計補助金の内数)	4,380,000	5,603,000	△ 1,223,000
実 質 経 常 損 益	8,303,142	8,572,816	△ 269,674
(特 別 損 益)	—	211,000	△ 211,000
純 損 益	12,683,142	14,386,816	△ 1,703,674
累 積 欠 損 金 (△)	△ 202,678,470	△ 218,149,741	15,471,271

(資 本 的 収 支)

項 目	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
資 本 的 収 入	18,896,878	17,688,502	1,208,376
企 業 債	12,808,000	12,204,000	604,000
出 資 金	2,387,000	2,194,000	193,000
貸 付 金 返 還 金	1,000,000	1,000,000	0
一 般 会 計 補 助 金	1,693,992	1,516,006	177,986
国 庫 補 助 金	616,882	577,680	39,202
県 補 助 金	30,000	30,000	0

項 目	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
そ の 他 資 本 収 入	361,004	166,816	194,188
資 本 的 支 出	53,960,148	54,501,104	△ 540,956
建 設 改 良 費	15,001,277	12,963,297	2,037,980
企 業 債 償 還 金	38,448,871	41,027,807	△ 2,578,936
出 資 金	500,000	500,000	0
予 備 費	10,000	10,000	0
収 支 差 引	△ 35,063,270	△ 36,812,602	1,749,332

資本的収入額（高速度鉄道事業特例債1,995,000千円を除く。）が資本的支出額に対し不足する額37,058,270千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で措置するものとする。

（資金不足の状況）

項 目	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
資 金 不 足 額 (△)	△ 14,880,374	△ 14,961,782	81,408
実 質 資 金 不 足 額 (△)	△ 191,652,993	△ 207,091,317	15,438,324

3 事 項 別 説 明

(収益的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
高速度鉄道事業収益	100,312,742	100,389,892	△ 77,150	
1 営 業 収 益	90,852,077	89,494,883	1,357,194	
1 運 輸 収 益	83,292,024	82,008,545	1,283,479	乗車料金 74,765,956 敬老バス等負担金 8,526,068
2 運 輸 雑 収	7,560,053	7,486,338	73,715	広告収入等
2 営 業 外 収 益	9,460,665	10,684,009	△ 1,223,344	
1 受 取 利 息 及 び 配 当 金	11,000	11,000	0	配当金等
2 一 般 会 計 負 担 金	212,003	211,478	525	児童手当負担金
3 一 般 会 計 補 助 金	5,476,907	6,755,814	△ 1,278,907	特例債元金償還補助金 4,380,000 特例債利子補助金 125,356 基礎年金拠出金公的負担経費補助金 802,340 建設改良債利子補助金 169,211
4 長 期 前 受 金 戻 入	3,605,182	3,653,296	△ 48,114	減価償却等に伴う長期前受金の戻入
5 雑 収 益	155,573	52,421	103,152	敬老バス等負担金過年度精算金等
(特 別 利 益)	—	211,000	△ 211,000	
(その他特別利益)	—	211,000	△ 211,000	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
高 速 度 鉄 道 事 業 費	86,619,996	85,176,136	1,443,860	
1 営 業 費 用	75,940,108	73,810,614	2,129,494	
1 線 路 保 存 費	9,133,353	7,643,133	1,490,220	軌道、諸構築物の維持補修費 (人件費) 3,175,930 事務職員 29人 技術職員 303人 計 332人 (経 費) 5,957,423
2 電 路 保 存 費	3,759,189	3,990,474	△ 231,285	電車線、変電設備等の維持補修費 (人件費) 1,921,085 事務職員 1人 技術職員 197人 計 198人 (経 費) 1,838,104
3 車 両 保 存 費	5,433,146	5,187,179	245,967	電車車両の維持補修費 (人件費) 3,269,658 事務職員 11人 技術職員 350人 計 361人 (経 費) 2,163,488
4 運 転 費	12,593,287	12,200,649	392,638	電車運転費 (人件費) 8,184,375 事務職員 8人 技術職員 866人 計 874人 (経 費) 4,408,912

5 運 輸 費	16,000,125	15,678,130	321,995	駅務、信号保安経費 (人件費) 8,187,839 事務職員 16人 技術職員 816人 計 832人 (経 費) 7,812,286
6 運 輸 管 理 費	1,759,814	1,767,189	△ 7,375	電車運転、運輸の管理費 (人件費) 474,270 事務職員 14人 技術職員 32人 計 46人 (経 費) 1,285,544
7 研 修 所 費	221,505	210,817	10,688	研修所の運営費 高速度鉄道事業分担率 80% (人件費) 197,703 (経 費) 23,802
8 一 般 管 理 費	2,601,346	2,600,195	1,151	高速度鉄道事業分担率 80% (人件費) 1,401,799 (経 費) 1,199,547
9 減 価 償 却 費	24,438,343	24,532,848	△ 94,505	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
2 営 業 外 費 用	10,669,888	11,355,522	△ 685,634	
1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	6,570,636	7,462,167	△ 891,531	利子及び手数料等
2 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	4,091,172	3,884,333	206,839	
3 雑 支 出	8,080	9,022	△ 942	
3 予 備 費	10,000	10,000	0	
1 予 備 費	10,000	10,000	0	

(資本的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
資 本 的 収 入	18,896,878	17,688,502	1,208,376	
1 企 業 債	12,808,000	12,204,000	604,000	
1 高速度鉄道事業 公 債	10,813,000	9,398,000	1,415,000	建設改良費にあてる起債
2 高速度鉄道事業 特 例 債	1,995,000	2,364,000	△ 369,000	企業債の利子支払額の一部にあてる起債
〔高速度鉄道事業 資本費平準化債〕	—	442,000	△ 442,000	
2 出 資 金	2,387,000	2,194,000	193,000	
1 一般会計出資金	2,387,000	2,194,000	193,000	建設改良費出資金
3 貸 付 金 返 還 金	1,000,000	1,000,000	0	
1 貸 付 金 返 還 金	1,000,000	1,000,000	0	自動車運送事業会計貸付金の返還金
4 一般会計補助金	1,693,992	1,516,006	177,986	
1 一般会計補助金	1,693,992	1,516,006	177,986	建設改良費補助金
5 国 庫 補 助 金	616,882	577,680	39,202	
1 国 庫 補 助 金	616,882	577,680	39,202	建設改良費補助金
6 県 補 助 金	30,000	30,000	0	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
1 県 補 助 金	30,000	30,000	0	建設改良費補助金
7 その他資本収入	361,004	166,816	194,188	
1 その他資本収入	361,004	166,816	194,188	工事費収入等
資 本 的 支 出	53,960,148	54,501,104	△ 540,956	
1 建 設 改 良 費	15,001,277	12,963,297	2,037,980	
1 用 地 費	2,446	2,362	84	地上権取得費
2 建 物 費	351,465	349,442	2,023	建物の改良費等
3 構 築 費	5,373,435	4,055,027	1,318,408	停車場、高架の改良費等
4 変 電 所 費	867,012	1,686,332	△ 819,320	変電設備の改良費等
5 電 線 路 費	4,760,710	2,234,433	2,526,277	電路設備の改良費等
6 車 両 費	2,922,764	3,646,955	△ 724,191	車両の購入費等
7 機 械 器 具 費	545,188	849,188	△ 304,000	事業用機械器具の購入費等
8 リース資産 購 入 費	102,365	68,822	33,543	情報システム機器等のリース料
9 受 託 工 事 費	75,892	70,736	5,156	

2 企業債償還金	38,448,871	41,027,807	△ 2,578,936	
1 企業債償還金	38,448,871	41,027,807	△ 2,578,936	高速度鉄道事業公債償還金 21,293,954 高速度鉄道事業資本費平準化債 償還金 4,499,000 高速度鉄道事業特例債償還金 4,380,000 高速度鉄道事業資本費負担緩和分 企業債償還金 8,275,917
3 出 資 金	500,000	500,000	0	
1 出 資 金	500,000	500,000	0	自動車運送事業経営基盤強化出資金
4 予 備 費	10,000	10,000	0	
1 予 備 費	10,000	10,000	0	

(建設改良事業の主な内容)

区 分	金 額 千円
名城線・名港線可動式ホーム柵の整備	3,636,522
構造物の耐震補強	813,415
駅のリニューアル	158,000
駅構内トイレのリニューアル	355,459
駅ホームの冷房化	80,225
駅エレベーター等の整備（名古屋駅、栄駅、今池駅）	580,051
車両の更新（鶴舞線）6両（1編成）	895,759
伏見駅における駅ナカ事業の展開	1,506,706
施設の整備	6,975,140
計	15,001,277

4 債務負担行為

○ 債務負担行為に関する調書

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	平成30年度末までの 支払義務発生・見込額		平成31年度以降の 支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	一般会計 補 助 金 千円	国庫補助金 千円	企 業 債 千円	消費税資本的 収 支 調 整 額 等 千円
高速度鉄道建設改良 (平成27年第18号議決)	13,000,000	28～30	7,947,885	31～32	2,194,164	46,922	42,230	2,104,000	1,012
高速度鉄道建設改良 (平成29年第18号議決)	10,000,000	30	2,462,305	31～32	2,636,662	21,162	19,046	2,595,000	1,454
高速度鉄道建設改良 (平成30年第19号議決)	13,000,000		—	31～33	13,000,000	856,000	771,000	11,373,000	—
高速度鉄道建設改良	10,000,000		—	32～34	10,000,000	285,000	257,000	9,071,000	387,000
軌道総合管理システムの 改修	103,000		—	32	103,000	—	—	—	103,000
庶務事務システムの改修	140,000		—	32～33	140,000	—	—	—	140,000

5 企業債

起債の目的	高速度鉄道事業建設改良費及び利子支払にあてるため		
限 度 額	12,808,000千円		
	高速度鉄道事業建設改良費	10,813,000千円	
	高速度鉄道事業特例債	1,995,000千円	
起債の方法	普通貸借又は証券発行		
利 率	年 5.0%以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）		
償還の方法	起債年度より据置期間をふくめ、40年度間以内に毎年元利もしくは元金均等の方法により、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は借換えすることができる。政府資金を借り入れる場合は、その融資条件による。		

6 一時借入金

限度額	29,000,000千円
-----	--------------

7 職員定員表

科 目 \ 職 名	特 別 職 人	事 務 職 員 人	技 術 職 員 人	計 人
高 速 度 鉄 道 事 業 費	—	79	2,564	2,643
線 路 保 存 費	—	29	303	332
電 路 保 存 費	—	1	197	198
車 両 保 存 費	—	11	350	361
運 転 費	—	8	866	874
運 輸 費	—	16	816	832
運 輸 管 理 費	—	14	32	46
関 連 費	1	123	32	156
研 修 所 費	—	4	11	15
一 般 管 理 費	1	119	21	141
合 計	1	202	2,596	2,799

平成31年度予算の概要

1 重要事項

取り組みの方針

名古屋市営交通事業経営計画2023（案）の理念である「安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄」を目指し、計画に掲げた施策・事業を着実に推進します。

(1) 安全・安心の推進

ア 安全対策の強化

事業費 3,795,173千円

(ア) 外部研修機関の講師を招いた実技研修

(事業費 1,439千円)

市バス運転士に対する実技指導の充実を図るため、交通心理士資格を有する講師を招いた実技研修を実施

(イ) 運輸安全マネジメントの推進

(事業費 22,099千円)

ヒヤリ・ハット情報を活用した事故等の未然防止策及び外部専門家の支援を受けた内部監査の実施

(ウ) ドライブレコーダーの機能強化

(事業費 101,639千円)

バス車両のドライブレコーダーの更新及びカメラの増設 194両

(エ) バス車両への安全確認放送装置の設置 (事業費 8,630千円)
バス車両周辺の歩行者や自転車利用者に対し、市バスの接近を音声で周囲に知らせる装置を設置 117両

(オ) 名城線・名港線可動式ホーム柵の整備 (平成32年度稼働予定) (事業費 3,661,366千円)
可動式ホーム柵の設置に向けた電気設備の改修等

イ 自然災害への備え **事業費 852,572千円**

(ア) 地下鉄構造物の耐震補強 (事業費 813,415千円)
東日本大震災を踏まえた高架及び地下構造物の柱の補強等
実施箇所 駅間5区間等

(イ) 駅出入口止水板の改修 (事業費 39,157千円)
実施箇所 栄駅10箇所

ウ 計画的な維持管理 **事業費 3,758,991千円**

(ア) 第2栄変電所の移設 (事業費 24,000千円)
第2栄変電所を旧名城工場跡地へ移設するための設計

(イ) 地下鉄構造物の長寿命化 (事業費 286,156千円)
トンネル及び高架構造物について、計画的な補修を実施

(ウ) 地下鉄電気設備の更新 (事業費 1, 960, 348 千円)

地下鉄の電気設備（変電設備、電路設備、信号設備、通信設備）について、計画的な更新を実施

(エ) 地下鉄駅エレベーター、エスカレーターの更新 (事業費 263, 445 千円)

エレベーターやエスカレーターについて、計画的な更新を実施

(オ) 地下鉄車両の主要電気機器更新 (事業費 1, 225, 042 千円)

車両を安全に長く使用するため、計画的な更新を実施

(2) 快適・便利の向上

ア 地下鉄駅等のリニューアル

事業費 1, 092, 037 千円

(ア) 地下鉄駅のリニューアル (事業費 158, 000 千円)

明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、開業後50年以上経過した駅について、駅全体の壁・床・天井・照明などのリニューアルを実施

設計 千種駅、名城線上前津駅

(イ) 駅構内トイレのリニューアル (事業費 355, 459 千円)

利用者の快適性向上に向け、全ての便器の洋式化、全ての駅への温水洗浄便座の設置等の改修を実施

設計 名古屋駅、東山公園駅、上前津駅

改修 金山駅、市役所駅、伝馬町駅、名古屋駅（名古屋駅は平成32年度完成予定）

設計、改修を行うトイレは各駅1箇所

- (ウ) 地下鉄駅ホームの冷房化 (事業費 80,225千円)
ホーム冷房未実施の駅について、整備手法等を調査し整備
設計 桜山駅、千種駅
整備 桜山駅（平成32年度完成予定）
- (エ) わかりやすい案内サインの整備 (事業費 264,550千円)
ピクトグラムや駅番号を活用した案内サイン等を整備
整備 伏見駅、金山駅
- (オ) バスターミナルの環境改善 (事業費 63,604千円)
a 照明のLED化及び上屋の塗装替え
中村公園、六番町、藤が丘（藤が丘は照明のLED化のみ）
b 本郷バスターミナル改修の設計
c 鳴子北バスターミナルにおけるドライ型ミスト装置の試行設置
- (カ) バス停留所施設の整備・改修 (事業費 170,199千円)
快適なバス待ち環境に向けて、利用状況等を踏まえ照明付標識、上屋及びベンチの整備・改修等を実施

イ 人にやさしい環境づくり **事業費 2,675,667千円**

- (ア) 地下鉄駅エレベーターの整備等 (事業費 592,951千円)
整備 名古屋駅、栄駅、今池駅（平成32年度完成予定）
調査 御器所駅、伏見駅

- | | | | |
|----------|---|------------|------------------|
| (イ) | 地下鉄鶴舞線車両の更新
車いす（ベビーカー）スペースや液晶式車内案内表示装置などを備えた車両に更新 6両（1編成） | (事業費 | 895,759千円) |
| (ウ) | エスカレーター音声案内装置等の整備
エスカレーター音声案内装置の整備及び券売機設置場所の車いす対応化等を実施 | (事業費 | 132,377千円) |
| (エ) | バス車両の更新
老朽化したバス車両の更新 45両 | (事業費 | 931,552千円) |
| (オ) | 蛍光灯のLED化
環境負荷を低減するため、駅構内の蛍光灯照明を省エネ効果の高いLEDへ改修 | (事業費 | 123,028千円) |
| ウ | わかりやすく利用しやすい環境づくり | 事業費 | 987,016千円 |
| (ア) | バス車内への液晶式停留所名表示器の設置
ピクトグラム等による運行案内が可能な液晶式停留所名表示器をバス車内に設置 45両 | (事業費 | 12,707千円) |
| (イ) | バス停留所へののりば番号の表示
わかりやすい案内を行うため、バス停留所にのりば番号を表示 | (事業費 | 6,057千円) |
| (ウ) | 地下鉄券売機の多言語化
マナ力対応の券売機について、英語に加え、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語に対応するよう改修 | (事業費 | 96,904千円) |

- (エ) 液晶式車内案内表示装置の多言語化（平成32年度稼働予定）（事業費 70,686千円）
地下鉄車両の液晶式車内案内表示装置の次駅名や行先表示部分について、英語に加え、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語に対応するよう改修
- (オ) 地下鉄駅の旅客案内表示装置の更新（事業費 776,381千円）
名城線・名港線の旅客案内表示装置をカラー液晶式で、英語に加え、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語に対応できるものに更新
- (カ) タブレット端末の全駅配備（事業費 4,570千円）
訪日外国人や聴覚に障害のある方などに外国語での対応や、音声、文字、画像でご利用案内を行うため、タブレット端末を全駅に配備
- (キ) 地下鉄駅コンシェルジュの配置（事業費 14,171千円）
国内外の旅行者など、利用者への案内を行うコンシェルジュを配置（名古屋駅、栄駅、金山駅）
- (ク) 地下鉄一日乗車券の24時間券化（事業費 5,540千円）
有効期間を暦日から使用開始後24時間にするための駅務機器の改修

(3) まちの活性化への貢献

ア 拠点エリアの駅機能強化

事業費 215,258千円

(ア) リニア中央新幹線建設工事への対応

(事業費 196,258千円)

建設工事に伴う地下鉄名古屋駅施設の仮移転

(イ) 主要駅の混雑緩和対策の検討

(事業費 19,000千円)

東山線名古屋駅・栄駅の混雑緩和を図るため、利用者の通行経路、通行量及び目的地等を調査

イ 効果的な利用促進策の展開

事業費 1,581,053千円

(ア) 伏見駅における駅ナカ事業の展開（平成31年度開業）

(事業費 1,543,011千円)

駅の利便性及び魅力向上を図るため、多数の店舗を一体的に展開する駅ナカ商業施設の整備等

(イ) 「なごや乗換ナビ」における検索機能の充実

(事業費 1,293千円)

観光地を紹介するウェブサイト等と連携し、観光者向け施設や店舗の情報から目的地を設定し検索できる機能（日本語及び英語に対応）を追加

(ウ) 市バス90周年記念事業の実施

(事業費 36,749千円)

市バスが都市基盤として重要な役割を担ってきた90年の歴史を振り返るとともに、さらなる利用促進を図るための記念イベントの開催等

(4) 安定した運営基盤の確立

ア 人材の確保・育成

事業費 135,325千円

(ア) 働きやすい環境づくり

(事業費 132,825千円)

a 市バスの運転士待機所及び給油量管理システムの整備等

b 地下鉄駅における女性職員用施設の設置及び職員トイレの改修等

(イ) 制服の機能性向上

(事業費 2,500千円)

業務をより安全・快適に行えるようにするための制服のリニューアルに向けた調査

イ 経営基盤の強化

事業費 649,361千円

(ア) 資産の有効活用

(事業費 402,830千円)

旧名城工場跡地の活用に向けた既存建築物の解体等

(イ) 広告料収入の確保

(事業費 238,245千円)

a 内照式広告枠の改修

可動式ホーム柵設置に伴う視認性の低下を防ぐため、金山駅において、広告枠の設置位置を変更するとともに、
広告枠の増設等を実施

b デジタルサイネージ広告の設置

動画等による情報発信が可能なデジタルサイネージ広告を金山駅に設置

(ウ) 市バスの管理委託の拡大

(事業費 8, 286千円)

平成32年度に予定している港明営業所の委託車両数増車に向けた準備

(エ) 市バス事業長期借入金の返還

(返還額 2, 000, 000千円)

一般会計、高速度鉄道事業会計へそれぞれ1, 000百万円を返還

2 財政支援

(1) バス

(単位 千円)

区 分				3 1 年 度	3 0 年 度	増 △ 減
一 般 会 社 計	補 助 金	資 本 費 補 助 金		1,234,418	1,029,146	205,272
		地 域 巡 回 路 線 等 維 持 補 助 金		2,281,000	2,015,000	266,000
		当 年 度 分	地 域 巡 回 路 線	309,000	305,000	4,000
			そ の 他 路 線	1,972,000	1,710,000	262,000
		過年度精算分	地 域 巡 回 路 線	127,000	157,000	△ 30,000
			そ の 他 路 線	△ 127,000	△ 157,000	30,000
		基礎年金拠出金公的負担経費補助金		386,084	377,512	8,572
		共 済 追 加 費 用 補 助 金		147,817	174,739	△ 26,922
		小 計		4,049,319	3,596,397	452,922
	児 童 手 当 負 担 金		123,625	127,767	△ 4,142	
	経 営 基 盤 強 化 出 資 金		—	500,000	△ 500,000	
	計		4,172,944	4,224,164	△ 51,220	
地下鉄	経 営 基 盤 強 化 出 資 金			500,000	500,000	0
県	運 輸 事 業 振 興 補 助 金			20,000	20,000	0
合 計				4,692,944	4,744,164	△ 51,220

(2) 地下鉄

(単位 千円)

区 分			31 年 度	30 年 度	増 △ 減
一 般 会 計	補 助 金	特 例 債 元 金 償 還 補 助 金	4,380,000	5,603,000	△ 1,223,000
		特 例 債 利 子 補 助 金	125,356	187,564	△ 62,208
		基礎年金拠出金の負担経費補助金	802,340	781,969	20,371
		建設改良債利子補助金	169,211	183,281	△ 14,070
		建設改良費補助金	1,693,992	1,516,006	177,986
		小 計	7,170,899	8,271,820	△ 1,100,921
	児 童 手 当 負 担 金		212,003	211,478	525
	建設改良費出資金		2,387,000	2,194,000	193,000
	計		9,769,902	10,677,298	△ 907,396
	国	建設改良費補助金	616,882	577,680	39,202
県		建設改良費補助金	30,000	30,000	0
合 計			10,416,784	11,284,978	△ 868,194

3 消費税法及び地方税法の一部改正に伴う料金改定

(1) 料金改定の実施（平成31年10月実施）

影響額

592,238千円

消費税及び地方消費税の税率改正に伴う市バス・地下鉄の料金及び手数料の改定は、本市が推進する子育て支援の観点を踏まえ、子育て家庭の負担感に配慮して実施

（子育て家庭の負担感への配慮）

- ・普通券、一日乗車券の小児料金については、改定する大人料金を半額にした際に10円未満の端数が生じた場合、切り捨てにより現行料金と同額に据え置く
- ・高校生以下の通学用学生定期券については、現行料金と同額に据え置く

(2) 新旧料金比較表

ア 乗合バス

(単位 円)

区 分			現 行	改定後
定期外	普通券	大人	210	210
		小児	100	100
	一日乗車券	大人	600	620
		小児	300	310
定期 (1か月の場合)	通勤		9,000	9,320
	学生甲 (中学生以上)		5,400	5,400
	学生乙 (小学生以下)		3,600	3,600

イ 地下鉄

(単位 円)

区 分				現 行	改定後
定期外	普通券	大人	1 区	200	210
			2 区	240	240
			3 区	270	270
			4 区	300	310
			5 区	330	340
		小児	1 区	100	100
			2 区	120	120
			3 区	130	130
			4 区	150	150
			5 区	160	170
	一日乗車券		大人	740	760
			小児	370	380

(単位 円)

区 分			現 行	改定後
定期 (1 か月の場合)	通勤	1 区	8,390	8,540
		2 区	9,370	9,540
		3 区	10,280	10,470
		4 区	11,100	11,300
		5 区	11,850	12,060
	学生甲 (大学生)	1 区	4,940	5,030
		2 区	5,400	5,500
		3 区	5,780	5,880
		4 区	6,090	6,200
		5 区	6,330	6,440

(単位 円)

区 分			現 行	改定後
定期 (1 か月の場合)	学生甲 2 (高校生・中学生)	1 区	4,440	4,440
		2 区	4,830	4,830
		3 区	5,140	5,140
		4 区	5,370	5,370
		5 区	5,530	5,530
	学生乙 (小学生以下)	1 区	2,400	2,400
		2 区	2,630	2,630
		3 区	2,810	2,810
		4 区	2,960	2,960
		5 区	3,080	3,080
	全線		15,000	15,270

ウ 乗合バス・地下鉄割引連絡

(単位 円)

区 分			現 行	改定後
定期外	共通一日乗車券	大人	850	870
		小児	430	430
	ドニチエコ きっぷ	大人	600	620
		小児	300	310
定期（1か月の場合）	通勤	1区	13,920	14,300
		2区	14,700	15,100
		3区	15,430	15,840
		4区	16,080	16,500
		5区	16,680	17,110
	学生甲 (大学生)	1区	8,280	8,350
		2区	8,640	8,720
		3区	8,950	9,030
		4区	9,200	9,280
		5区	9,390	9,480

(単位 円)

区 分			現 行	改定後
定期（1か月の場合）	学生甲2 (高校生・中学生)	1区	7,880	7,880
		2区	8,190	8,190
		3区	8,440	8,440
		4区	8,620	8,620
		5区	8,750	8,750
	学生乙 (小学生以下)	1区	4,800	4,800
		2区	4,990	4,990
		3区	5,130	5,130
		4区	5,250	5,250
		5区	5,350	5,350
	共通全線（通勤）		18,510	18,970
	共通全線（学生）		10,110	10,370

エ 貸切バス

現 行	改定後
時間制運賃及び距離制運賃の合算額に深夜早朝運行料金又は 交替運転者配置料金を加算した金額に100分の108を乗じ得た 金額	時間制運賃及び距離制運賃の合算額に深夜早朝運行料金又は 交替運転者配置料金を加算した金額に100分の110を乗じ得た 金額

オ 手数料

区 分		現 行	改定後
払戻し	普通券・一日乗車券	100円	100円
	I C S Fカード乗車券	220円	220円
	定期券	510円	520円
書 換	定期券	510円	520円
再発行	I C S Fカード乗車券	510円	520円

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。